

2024年8月28日

一般社団法人新エネルギーO&M協議会

新エネルギーO&M協議会、 発電低下と損失額が瞬時にわかる「売電損失 簡易診断」サイトを無料公開

産業用太陽光発電所の運転および維持管理を支援する一般社団法人新エネルギーO&M協議会（東京都千代田区、理事長：高根沢喜美一）は、発電事業者向けに発電低下と損失額が瞬時にわかる無料診断サイト「売電損失 簡易診断」を公開しました。

「売電損失 簡易診断」 <https://pvom.jp/loss>

このサイトでは、発電所の所在地、連系当初と昨年の発電電力量、FIT 単価を入力するだけで、昨年1年間の売電損失額と発電低下を12ヶ月移動平均法で簡単に診断することができます。

【背景と目的】

当法人がこれまでに収集したデータの分析によれば、70%超の発電所の発電効率が、年換算1%を超えて低下しています。発電所オーナーもメンテナンス事業者もこのことに気づいていない。というより、気づこうとしない。何の疑問も持たず、当たり前のように当たり前のメンテナンスを行うことで、どれだけ自分の発電所が損をしているのか。多くの発電所オーナーにそのことに気づいていただくことを目的に、簡便で何の縛りもないツールを開発し、リリースします。

【サイトの特長と利便性】

従来、もっと詳細な仕組みがありましたが、詳細過ぎて入力が難儀なことおよび自分のデータを仕組みの提供元に取られるという使いづらさがありました。本件簡易診断は、登録等一切無用で、HP上で即利用いただけます。簡易診断のみで終了すれば、当法人に一切データが残りません。

（簡易診断 画面イメージ） <https://pvom.jp/loss>

売電損失 簡易診断

1. 発電所所在エリア
発電所所在エリアは、ドロップダウンリストから最寄りの都道府県を選択してください。

- 発電所所在地が雪国の場合は、積雪状況も考慮して選択
- ドロップダウンリストにない以下の県は、気候が近い隣接の県を選択
(リストにない県：埼玉、神奈川、石川、岐阜、三重、京都、兵庫、和歌山、鳥取、岡山、徳島)

千葉県

2. 1年間の発電電力量が分かる最初の年
通常は、「稼働2年目（遠隔監視システムが後付けの場合はその翌年）」ですが、その年に事故、故障等で発電が低下している場合は、別の年を入力してください。

2018 年

3. 「2」で入力した年の1月から12月の発電電力量の合計、または売電金額（税別）
該当の期間の発電電力量、または売電金額のどちらか一方をご入力ください。

「2」で入力した年の01月～12月の発電電力量の合計
59820 kWh

「2」で入力した年の01月～12月の売電金額（税別）
円

4. 2023年の1月から12月の発電電力量の合計、または売電金額（税別）
該当の期間の発電電力量、または売電金額のどちらか一方をご入力ください。

2023年の1月から12月の発電電力量の合計、または売電金額（税別）
58200 kWh

2023年の01月～12月の売電金額（税別）
円

5. 売電単価（kWhにつき・税別）
該当の発電所の売電単価をご入力ください。

36 円

結果を見る >

昨年1年間のみなし売電損失額
▲ 53,904 円

・簡易診断の手順

1. 発電所の所在地、連系当初と昨年の発電電力量（または売電金額）、FIT 単価を入力
2. 「診断する」ボタンを押せば、売電損失額が瞬時に表示

【実証結果】

事前に実施した簡易診断と詳細解析（発電電力量解析）の結果を比較したところ、ほぼ同様の診断結果が得られ、簡易診断ツールの有効性と信頼性が確認されています。

※12ヶ月移動平均が毎月の発電効率を12ヶ月分平均するのに対し、簡易解析では年間合計から発電効率を計算するなど、多少の差があります。

一般社団法人新エネルギーO&M協議会について

- 所在地：東京都千代田区岩本町 1-9-3
- 設立：2018年
- 理事長：高根沢喜美一（株式会社アルシス代表取締役）
- 事業内容：太陽光発電の運転・維持管理の研究・企画・開発およびその他の推進支援

お問い合わせ先 一般社団法人新エネルギーO&M協議会

- メール：info@pvom.jp
- お問い合わせフォーム：<https://pvom.jp/contact>